

論文審査の結果の要旨

報告番号	共博(医歯薬)甲第8号	氏名	辻 創介
学位審査委員	主 査	上谷 雅孝	
	副 査	柳原 克紀	
	副 査	西野 友哉	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、IgG4 関連疾患に対して¹⁸F-FDG PET/CT を行い、¹⁸F-FDG 集積の定量評価と組織学的所見を対比し、¹⁸F-FDG PET/CT の有用性を明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 IgG4 関連疾患の患者 21 例における組織学的所見が得られた 24 部位を対象とし、¹⁸F-FDG PET/CT における病巣集積の定量値-standard uptake value (SUV)-について最大値 (SUVmax) と平均値 (SUVmean) を測定し、組織学的 IgG4 陽性・陰性の結果と比較している。この研究手法は¹⁸F-FDG PET/CT の診断能を明らかにするうえで、妥当なものである。</p> <p>3 解析・考察の評価 組織学的所見では 24 部位中 19 部位が IgG4 陽性であった。IgG4 陽性グループと陰性グループにおいて、SUVmax では有意差がなかったが、SUVmean および SUVmean/liver では陽性グループで有意に高値を示した。ROC 解析でも同様の結果であった。IgG4 関連疾患における生検部位を決定するうえで、有用な情報を提供すると考えられ、¹⁸F-FDG PET/CT の新たな臨床的価値を示す研究として、今後の発展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は IgG4 関連疾患における¹⁸F-FDG PET/CT 臨床応用の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			